

令和6年度
全国学力・学習状況調査
指導方法等の改善計画

呉市立広中央中学校
(広中央中学校区)

全国平均値との差

	国語	数学
呉市教育振興基本計画〈指標〉	+5.0	+5.0
令和8年度	—	—
令和7年度	—	—
令和6年度	−6.1	−10.5
令和5年度	−3.8	−9.0
令和4年度	−4.0	−8.4

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎…各学校 ◇…中学校区

国語 本校 52.0 % 全国 58.1 % 県 58.0 % 話すこと・聞くこと 書くこと 読むこと 言葉の特徴や使い方 我が国の言語文化 情報の扱い方	重点課題	◎文の成分の順序や照応についての理解がある。(設問3二)【言葉の特徴や使い方に関する事項】(平均正答率41.3%, 全国平均との差▼12.5%) ◇目的や意図に応じて情報を集めたり, 資料を用いて自分の考えをわかりやすく伝えるように話したりすることに課題がある。【話すこと・聞くこと】
	改善の方策	◎単語の活用, 助詞や助動詞などはたらき, 文の成分の順序や照応など文の構成について理解するとともに, 話や文章の構成や展開について理解を深める活動を設定する。 ◇情報同士の結びつきに注意しながら話の要点を捉えたり, 意見に対する根拠の適切さを判断したりする活動を設定する。
	検証	◎言葉の特徴や使い方に関する問題(課題テスト) 目標50%→70.5% ◇資料を用いて自分の考えを伝える問題(課題テスト) 目標60%→62.5%
数学 本校 42.0 % 全国 52.5 % 県 52.0 % 数と式 図形 関数 データの活用	重点課題	◎筋道を立てて考え, 証明することに課題がある。【図形】(平均正答率8.8%, 全国平均との差▼17.0%) ◇図形やグラフから必要な数値を読み取り, 言葉と数を用いて考えを記述することに課題がある。(平均正答率58.4%, 全国平均との差▼18.5%)
	改善の方策	◎問題文から仮定と結論を読み取り, 仮定から結論を導く論証の流れを理解させるとともに, 証明を記述する活動を繰り返し設定する。 ◇グラフの傾きや交点が表す数量を, 単位に注目して考える活動を繰り返し設定する。
	検証	◎筋道を立てて考え証明する問題(第3学年, 2学期期末試験) 目標15%→22.2% ◇グラフの傾きや交点の意味を事象に即して解釈することができるかどうかをみる問題(第3学年, 学年末試験) 目標65%→78.4%

【来年度に向けて】
国語については, 文の成分や順序に関する小テストや, 文章を読み取って意見を書く問題を定期的に行う。数学については, 証明問題の無回答率が下がるようにワークシートの評価の仕方を工夫していく。